

## 【】 地形

[日本アルプスなど]

[解答 1]① 飛驒 ② 日本

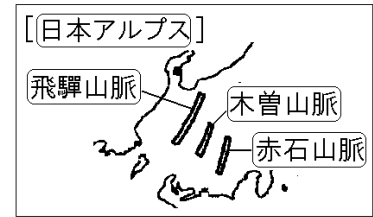
[解説]

本州の中央部には、飛驒山脈、木曾山脈、赤石山脈があり、3000メートル前後の山がそびえ、日本アルプスと呼ばれている。日本アルプスは、「日本の屋根」とも呼ばれている。

※出題頻度：「飛驒山脈◎」「木曾山脈◎」「赤石山脈◎」

「日本アルプス◎」

(頻度記号：◎(特に出題頻度が高い)、○(出題頻度が高い)、△(ときどき出題される))



[解答 2](1)X 飛驒山脈 Y 木曾山脈 Z 赤石山脈 (2) 日本アルプス

[その他の地形]

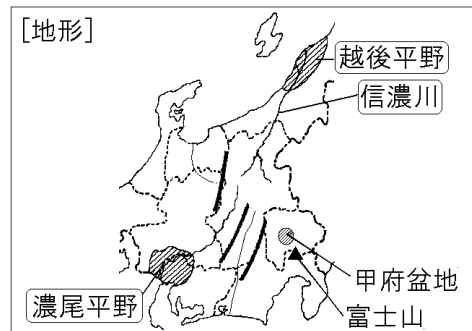
[解答 3]① 信濃 ② 濃尾

[解説]

信濃川は、長野県から新潟県へ流れる日本一長い河川である。信濃川の下流と阿賀野川下流の三角州にできた越後平野は、日本でも有数の米の単作地帯である。日本アルプスから太平洋側に流れ出る河川の上流部には甲府盆地などが点在しており、下流部には濃尾平野などが広がっている。

※出題頻度：「信濃川◎」「越後平野◎」「濃尾平野◎」

「富士山△」「甲府盆地△」



[解答 4](1) 信濃川 (2) 越後平野 (3) 濃尾平野 (4) 輪中

[解説]

(4) 木曾川、長良川、揖斐川の流れる濃尾平野西部の低地は、かつては毎年のように洪水になやまされてきた。そこで江戸時代になると、家や農地を洪水の被害から守るため、村の外側を高い堤防で囲む輪中と呼ばれる集落がつくられるようになった。しかし、明治時代以降、近代的な治水工事が行われるようになると、洪水などの被害も少なくなり、輪中はしだいに必要とされなくなった。現在、輪中は一部の地域に残るだけになっている。

※「輪中」という語句が出てこない教科書もある。

※出題頻度：「輪中△」

[解答 5]A 飛驒 B 木曾 C 赤石 D 信濃 E 越後 F 濃尾 G 甲府 H 富士

[解答 6]① 信濃川 ② 富士山

【】 県名・地域名

[県名]

[解答 7](1)① 愛知県 ② 静岡県 ③ 山梨県 ④ 長野県 ⑤ 岐阜県 ⑥ 新潟県

⑦ 富山県 ⑧ 石川県 ⑨ 福井県 (2) ①名古屋市, ③甲府市, ⑧金沢市

※この単元はよく出題される。

[地域名]

[解答 8]① 東海 ② 中央高地 ③ 北陸

[解説]

中部地方は、太平洋側の<sup>とうかい</sup>東海、内陸部の<sup>ちゅうおうこうち</sup>中央高地、日本海側の<sup>ほくりく</sup>北陸の3つの地域に分けられる。東海(静岡県, 愛知県, 岐阜県(一部), 三重県(近畿地方の県))は、太平洋側の温暖な気候と広い平野にめぐまれ、人口密度が高い。中央高地(長野県, 山梨県, 岐阜県(一部))は、けわしい山地が広がり、夏は涼しく、冬は寒さが厳しい。

北陸(新潟県, 富山県, 石川県, 福井県)は冬の積雪期間が長く、世界有数の<sup>ごうせつ</sup>豪雪地帯である。

※出題頻度:「東海○」「中央高地○」「北陸○」



[解答 9]A: 北陸, ア B: 中央高地, ウ C: 東海, イ

[解答 10](1) 長野県, 山梨県, 岐阜県 (2) 三重県

[名古屋大都市圏・政令指定都市]

[解答 11](1) 名古屋大都市圏 (2) 政令指定都市

[解説]

(1) 大都市圏としては、東京大都市圏、<sup>だいとしけん</sup>大阪大都市圏(京阪神大都市圏)、名古屋大都市圏、がある。

(2) 中部地方の政令指定都市は、名古屋市・静岡市・浜松市・新潟市の4都市である。

(新潟市の人口は約79万人(2020年)で北陸で最も人口が多い)

※出題頻度:「名古屋大都市圏△」「政令指定都市:名古屋市・浜松市・静岡市・新潟市△」

[解答 12](1) 名古屋市, 浜松市, 静岡市 (2) 新潟市

【1】3地域の気候

[雨温図]

[解答13]① ア ② イ ③ ウ

[解説]

中部地方の気候は、北陸の日本海側の気候・中央高地の内陸性の気候・東海の太平洋側の気候の3つに分けることができる。

この3つの気候の大きな違いは季節ごとの降水量である。

冬には北西の季節風がふくが、この季節風は日本海を通るときに暖流である対馬海流から大量の湿気

を与えられる。湿った季節風が日本列島に達し、山脈・山地で上昇気流ができて雲ができ、北陸に多量の雪をもたらす。したがって、北陸では冬(とくに12月・1月)の降水量が多くなり、雨量を示す棒グラフは凹型になる。

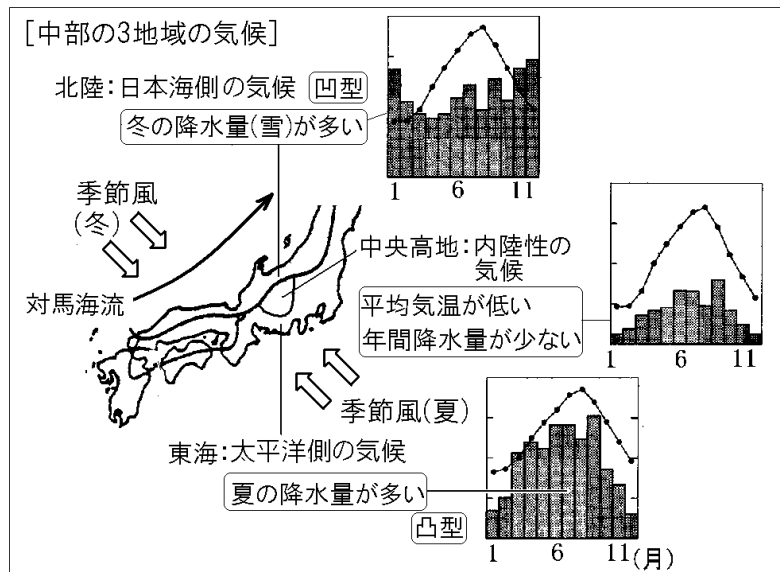
この季節風が山脈・山地をこえて内陸から太平洋岸を通るときは、乾燥しているため、雨は降りにくい。したがって、冬の東海や中央高地の降水量は少なくなる。

夏には南東の季節風がふくため、東海の降水量が多くなり、雨量を示す棒グラフは凸型になる。夏の北陸や中央高地の降水量は比較的少ない。中央高地は冬も夏も降水量が少ないため、年間の降水量は少ない。冬の降水量の方が少ないため棒グラフの形は凸型になる。また、中央高地は標高が高いため、平均気温が低い。以上より、問題の雨温図のアは北陸、イが東海、ウが中央高地のものであることがわかる。

※出題頻度：「雨温図：北陸・中央高地・東海のどこのものか◎」

[解答14](1)A 北陸 B 中央高地 C 東海 (2)① 季節風 ② 盆地 ③ 少な ④ 夏 (3)I ウ II イ III ア

[解答15]北陸：B, 冬の降水量が多いから。 中央高地：C, 年間の降水量が少ないから。 東海：A, 夏の降水量が多いから。



【】 東海の産業

【】 工業

[中京工業地帯：自動車産業]

[解答 16]① 豊田 ② 名古屋

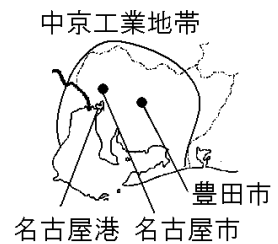
[解説]

愛知県を中心に広がる中京工業地帯は、自動車産業がさかんで、輸送用機械工業の出荷額がしめる割合が非常に高くなっている。

現在の豊田市周辺では、かつて、豊富な地下水とこの地域で生産された綿花を活用した繊維工業がさかんであった。この地域にあった織物機械の会社が、それまでつちかっていた技術力をいかして、1930年代に自動車をつくったのが、現在のトヨタ自動車の始まりである。自動車産業は、約3万点の部品を組み立てて自動車1台をつくる、総合的な組み立て型の産業である。そのため、自動車工場のまわりには、部品をつくる関連工場がたくさん集まっている。これらの関連工場から効率よく部品を納入してもらうしくみによって、時間や在庫のむだをはぶいている。完成した自動車は、付近を走る高速道路や、名古屋港に設けられた自動車専用の埠頭を活用して日本各地や世界の国々へ運ばれている。名古屋港で最も輸出額が多い輸出品は自動車である。

※出題頻度：「中京工業地帯◎」「豊田市○」「織物機械△」「輸送用機械(自動車)工業○」「高速道路と名古屋港○」

[中京工業地帯]  
輸送用機械の割合が高い  
豊田市：自動車工業  
高速道路→名古屋港から出荷



[解答 17]① 豊田 ② 自動車 ③ 関連 ④ 高速 ⑤ 名古屋

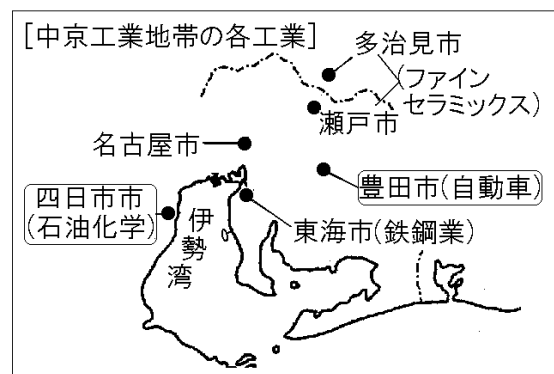
[解答 18](1) 繊維 (2)① 豊田市 ② D (3)① 関連 ② 名古屋

[中京工業地帯：その他の工業]

[解答 19]① 石油化学 ② 鉄鋼業

[解説]

戦後に自動車工業とならんで発展した鉄鋼業(東海市)や石油化学(四日市市)などの工業は、原料や燃料を外国からの輸入にたよっているため、工場は伊勢湾の沿岸につくられている。これらの工業は自動車工業とも結びついている。製鉄所からは自動車用のうすい鉄板が、石油化学工場からは多くの部品の原料として欠かせないプラスチックが納入されている。



そのほか、瀬戸市や多治見市では陶磁器の生産が行われており、近年、陶磁器からファインセラミックスへの転換が進んでいる。(陶磁器はセラミックスの一種である。セラミックスの中でも、特に電子工業をはじめ、各種産業用途に用いられる磁器は高い性能や精度が要求されることから、現在では「ファインセラミックス」と呼んで一般の陶磁器と区別している。)

※出題頻度：「豊田市で自動車○」「四日市市で石油化学工業○」「東海市で鉄鋼業△」

「瀬戸市や多治見市で陶磁器・ファインセラミックス△」

[解答 20]① 四日市市 ② 東海市 ③ 瀬戸市

[解答 21](1) 鉄鋼, 石油化学 (2) 陶磁器 (3) ファインセラミックス

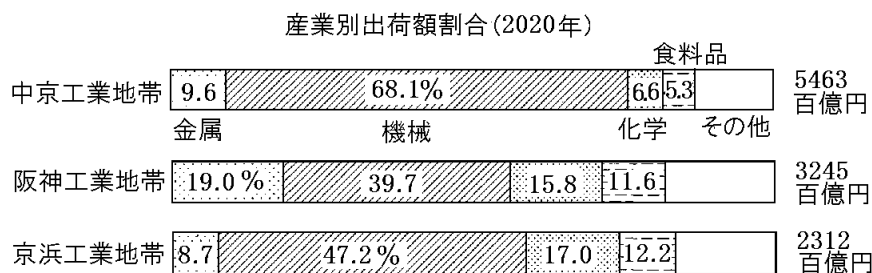
[中京工業地帯：出荷額・出荷割合]

[解答 22]中京工業地帯

[解説]

中京工業地帯の工業製品出荷額は日本 1 位で、機械工業(とくに自動車(輸送機械))の占める割合が約 7 割と非常に高い。

[中京工業地帯]  
・工業製品出荷額は日本 1 位  
・機械工業(特に自動車)の割合が高い



(統計出典)「日本国勢図会 2023/2024」P180

※出題頻度：「中京工業地帯◎」「出荷額日本 1 位○」「機械工業(自動車)の割合が高い○」

[解答 23](1) 中京工業地帯 (2) 第 1 位 (3) 機械工業

[解答 24]① A ② 出荷額が一番多く、機械のしめる割合がもっとも高いから。

[解説]

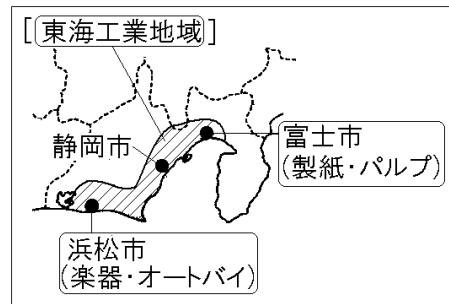
A は出荷額が一番大きく、機械の割合がもっとも高いので中京工業地帯である。  
金属の割合が比較的に高い B は阪神工業地帯で、C は京浜工業地帯である。

[東海工業地域]

[解答 25]東海工業地域

[解説]

静岡県<sup>しずま</sup>の太平洋沿岸には、東海工業地域<sup>とうかいこうぎょうちいき</sup>が広がっている。浜松市<sup>はままつ</sup>でさかんな楽器<sup>てんりゅう</sup>の製造には、天竜川から運ばれる木材資源を使って発展した木工業の技術が生かされている。第二次世界大戦中、浜松市周辺の楽器などの工場は、軍用の飛行機部品工場にかわったが、戦後はその技術を生かして、ヤマハやスズキなど、オートバイを製造する企業が成長した。



また、富士市<sup>ふじし</sup>周辺では、富士山ろくから流れる川の豊富な水資源を生かして、製紙・パルプ工業が発達した。

※出題頻度：「東海工業地域○」「浜松市で楽器やオートバイ○」「富士市で製紙・パルプ○」

[解答 26](1)X 中京工業地帯 Y 東海工業地域 (2) 浜松市

[解答 27](1) オートバイ, 楽器 (2) 紙 (3) 東海工業地域 (4) 静岡県

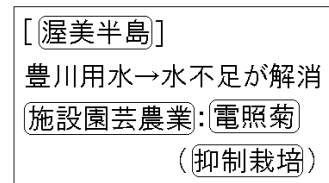
【】農業など

[愛知県渥美半島の施設園芸農業]

[解答 28]① 電照 ② 施設園芸農業

[解説]

渥美半島<sup>あつみはんとう</sup>や知多半島には大きな川がないため以前は水不足に苦しんできたが、戦後、渥美半島には豊川用水<sup>とよかわようすい</sup>が、知多半島には愛知用水が引かれたことで水不足が解消した。



渥美半島では、キャベツなどの野菜や花を栽培する園芸農業<sup>えんげいのうぎょう</sup>がさかんで、特に、電照菊<sup>でんしょうきく</sup>(開花時期をおくらせるために温室<sup>でんしょう</sup>内を照明で照らして抑制栽培<sup>よくせいさいばい</sup>)が有名である。これらは、高い価格で売れるようにほかの産地と出荷時期をずらすように栽培され、名古屋大都市圏だけでなく、全国に出荷されている。愛知県の菊の生産量は全国第1位である。温室などを利用した園芸農業を施設園芸農業という。



※出題頻度：「渥美半島(地図)○」「豊川用水△」「施設園芸農業○」「電照菊○」「抑制栽培○」

[解答 29](1) 渥美半島 (2) 豊川用水 (3) 促成栽培

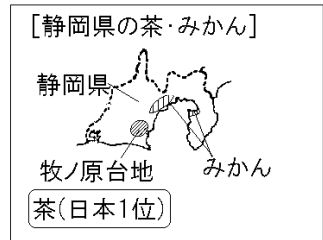
[解答 30](1) 電照菊 (2)① 花の開く時期をおくらせるため。 ② 抑制栽培 (3) 第1位 (4) 施設園芸農業 (5)① 豊川用水 ② 愛知用水

[静岡県の茶・みかん]

[解答 31]① 茶 ② みかん

[解説]

静岡県の牧ノ原台地は、明治時代に開墾されて茶の生産が始まった。静岡県の茶の生産は日本1位である。静岡と同じように畑作が中心の鹿児島県が第2位になっている。気候が温暖な駿河湾沿岸の丘陵地などでは、みかんが栽培されている。また、温室を利用したいちごやメロンの生産もさかんである。



茶(2021年)：静岡県(38.0%)、鹿児島県(33.9%)、三重県(6.9%)、宮崎県(3.9%)

みかん(2021年)：和歌山県(19.7%)、愛媛県(17.1%)、静岡県(13.3%)、熊本県(12.0%)

(統計修正)「日本国勢図会2023/2024」P152, 156

※出題頻度：「茶：静岡県が全国1位○」「みかん：静岡県が全国3位△」

[解答 32]A みかん B 茶

[漁業]

[解答 33](1) 焼津港 (2) 遠洋漁業

[解説]

静岡県焼津市にある焼津港は、千葉県の銚子港に次いで、日本で2番目の漁獲量を誇る港である。太平洋だけでなく、インド洋や大西洋まで漁場とする遠洋漁業の基地として栄え、まぐろやかつおの漁獲量は日本1である。また、焼津港周辺では、港にあがった魚を缶詰やかまぼこ、かつおぶしなどに加工する食品工業がさかんである。

※出題頻度：「焼津港△」「遠洋漁業△」

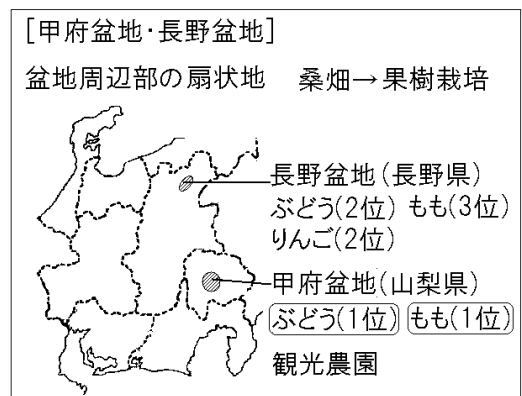
【】中央高地の産業

[果樹栽培]

[解答 34]① ぶどう ② もも

[解説]

甲府盆地(山梨県)や長野盆地(長野県、千曲川流域)の中央部の低地には水田地帯が広がっているが、盆地の周辺部の扇状地には砂や小石の混じった水がしみこみやすい土壌が広がり、水田に適さない。そのため、扇状地では、かつては桑畑が広がり養蚕が行われていた。しかし、養蚕業が衰退すると、現在では果実栽培がさかんとなり、山梨県や長野県は全国有数の果実の産地に成長した。



ぶどうの生産では全国第1位が山梨県、第2位が長野県となっている。山梨県にはぶどうからつくるワインの生産工場であるワイナリーが多い。また、ももの生産でも全国第1位は山梨県、第3位が長野県である(2位は福島県)。

また、長野県のりんごの生産は青森県に次いで全国第2位である。収穫された果実は、高速道路網が発達したことによって、大都市に短時間で出荷することができるようになった。大都市への近さを生かして、ぶどう狩りやりんご狩りを行う観光農園も見られる。

(果実の生産県順位)

ぶどう(2021年)：山梨県(24.6%)、長野県(17.4%)、岡山県(9.1%)、山形県(8.8%)

もも(2021年)：山梨県(32.2%)、福島県(22.6%)、長野県(9.9%)

りんご(2021年)：青森県(62.8%)、長野県(16.7%)、岩手県(6.4%)、山形県(4.9%)

(統計出典)「日本国勢図会2023/2024」P152

※出題頻度：「甲府盆地や長野盆地の扇状地△」「桑畑・養蚕業→果樹栽培△」

「ぶどう：1位山梨県、2位長野県○」「もも：1位山梨県、3位長野県○」

「りんご：1位青森県、2位長野県△」「観光農園△」

[解答 35]A 山梨県 B 長野県

[解答 36]① 甲府 ② 扇状 ③ 養蚕 ④ ぶどう ⑤ もも ⑥ りんご

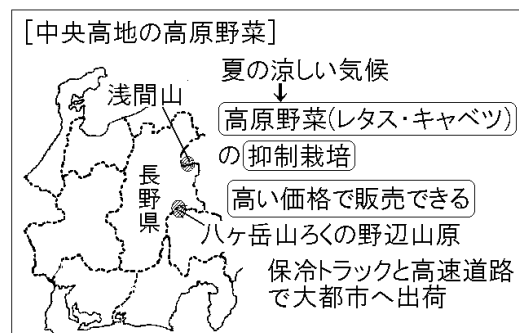
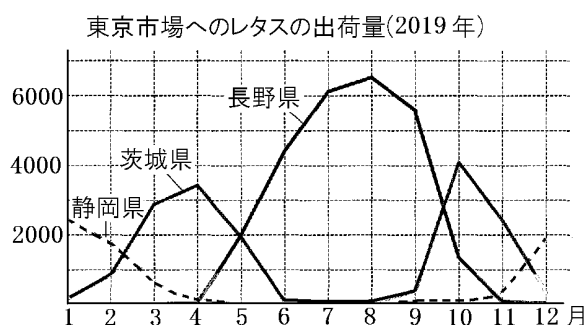
[解答 37](1) 山梨県 (2)① 甲府盆地 ② ウ (3) 扇状地 (4) 養蚕業 (5) 観光農園

(6) ワイナリー (7)① 長野盆地 ② イ

[中央高地の高原野菜]

[解答 38]① 高原 ② 高

[解説]



レタスやキャベツなどは本来夏には作ることができないが、標高の高い中央高地(長野県の八ヶ岳山ろくの野辺山原・浅間山山ろくなど)では夏の間も20℃前後と涼しいため、レタスやキャベツを夏に出荷している。このような野菜を高原野菜といい、涼しい気候を利用して収穫・出荷を遅らせる栽培方法を抑制栽培と呼んでいる。交通の発達などにより大都市への輸送が容易になったことで、栽培がさかんになった。



現在では、保冷トラックや高速道路の利用によって、早朝に収穫した野菜がその日のうちに東京や名古屋などの大都市の店頭で販売されるようになってきている。上のグラフのように、夏の涼しい気候を利用してほかの産地の野菜の出荷量が少ない夏の時期に出荷できるため、高い価格で販売できるという利点がある。長野県はレタスの生産量が日本一である。

※出題頻度：「高原野菜(レタスやキャベツ)○」「抑制栽培○」「夏の涼しい気候を利用してほかの産地の野菜の出荷量が少ない夏の時期に出荷できるため、高い価格で販売できる◎」「保冷トラックと高速道路△」

[解答 39]エ

[解答 40](1) レタス, キャベツ (2) 抑制栽培 (3) ウ (4) 野辺山原

[解答 41]夏の冷涼な気候を利用して収穫・出荷を遅らせ、他県の出荷量が少ない夏に出荷している。

[解答 42]他県の出荷量が少ない夏に出荷できるため高い価格で販売することができる。

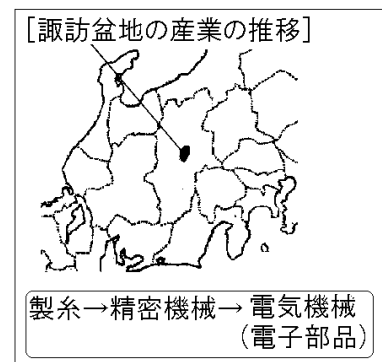
[解答 43]保冷トラックと高速道路の発達により大都市への輸送が容易になったこと。

[製糸業から発達した中央高地の工業]

[解答 44]諏訪盆地

[解説]

長野県の諏訪盆地にある岡谷市や諏訪市では、明治から昭和の初めにかけて諏訪湖の用水を利用した製糸業が発達した。その後、第二次世界大戦中には、空襲を避けるために、大都市から製糸工場の跡地などに多くの機械工場が移ってきた。戦後は、それらの工場であつた技術を地元の企業が受け継ぎ、この地域のきれいな水や空気が部品の洗浄に適していたこともあって、時計やレンズを作る精密機械工業が発達した。



さらに、1982年に中央自動車道が開通すると、材料や製品の輸送が便利になり、電子部品やプリンタ、産業用ロボットなどの電気機械工業の工場が進出するようになった。

※出題頻度：「諏訪盆地(地図)△」「製糸業→精密機械工業→電気機械工業(電子部品)○」

[解答 45]B→C→A

[解答 46]① 製糸 ② 精密機械 ③ 電気機械

## 【】北陸の産業

[米の単作]

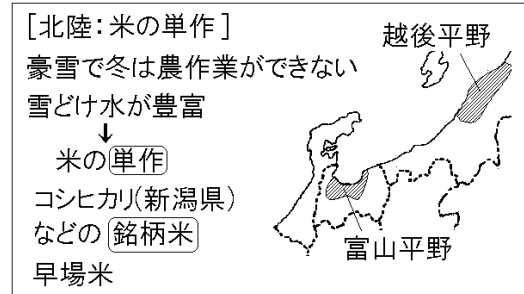
[解答 47]① 単作 ② 銘柄米

[解説]

北陸は、世界でもっとも雪が多く降る地域の1つである。豪雪のため冬の間は農業ができない。春になると、冬に積もった雪がとける。この雪どけ水が豊富にあるという条件が稲作に適している。冬に農業ができないことと豊富な雪どけ水を利用できることから、北陸は日本有数の米の単作地帯となっている(単作とは、1年間に1種類の農作物

だけを栽培する農業である)。越後平野や富山平野などの平野は夏の気温が高くなることをいかにして秋の早い時期に出荷する早場米の産地としても有名である。新潟県の魚沼産コシヒカリは、北陸の代表的な銘柄米である。

※出題頻度：「越後平野(新潟県)△」「富山平野(富山県)△」「単作○」「豪雪のため冬の間は農業ができない△」「豊富な雪どけ水△」「銘柄米(コシヒカリ)○」「早場米△」



[解答 48](1) 単作 (2) 銘柄米 (3) 早場米

[解答 49]① 単作 ② 越後 ③ 富山 ④ 早場 ⑤ コシヒカリ

[解答 50]豪雪のため冬に農業ができないことと、豊富な雪どけ水を利用できるから。

[解答 51]A 米 B 野菜 C 果実

[解説]

新潟県は米の単作地帯なので、農業生産に占める米の割合が大きい。したがって、Aは米を表している。山梨県の農業の中心は甲府盆地であるが、ここは水田に適さない扇状地が広がっている。この扇状地では果樹栽培がさかんに行われており、ぶどうとももの生産量は山梨県が日本1位である。以上より、グラフのCは果実であることが分かる。残りのBは野菜である。

[雪どけ水を生かした工業]

[解答 52]① 水力 ② アルミニウム

[解説]

北陸には山岳地帯から流れ出る豊富な雪どけ水を利用して、多くの水力発電所が建設された。特に黒部川などには水力発電所がたくさんつくられ、地場産業である銅器の製造技術と結びついて、大量の電力と水を必要とするアルミニウム工業の発展を支えた。現在では、輸入したアルミニウムをサッシなどの建具に加工する工業へと発展している。

※出題頻度：「水力発電→アルミニウム工業△」

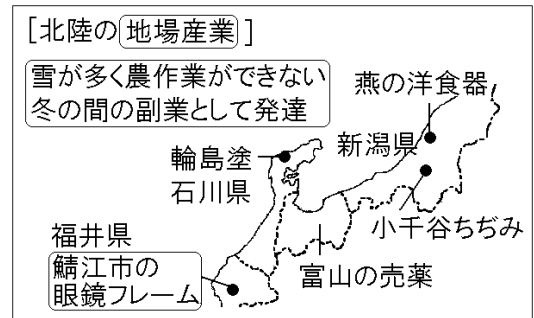
[北陸の地場産業]

[解答 53]地場産業

[解説]

古くから受け継がれてきた技術や、地元で取れる原材料などを生かし、地域と密接に結び付いて発達してきた産業のことを地場産業という。

北陸地方では、雪が多く農作業ができない冬の間の副業として地場産業が発達した。福井県鯖江市の眼鏡フレーム(全国生産の約 9 割を占める)、新潟県燕市の洋食器、富山の売薬などが名高い。



地場産業の中には、古くからの技術を生かしてつくられる伝統的工芸品を製造する伝統産業も数多くある。北陸の伝統産業としては、石川県の輪島塗、新潟県の小千谷ちぢみなどがある。近年は、後継者の不足の問題がおきている。

※出題頻度：「地場産業○」「雪が多く農作業ができない冬の間の副業として発達した◎」

「福井県鯖江市の眼鏡フレーム○」「輪島塗(石川県)△」「小千谷ちぢみ(新潟県)△」

「燕市の洋食器(新潟県)△」「富山の売薬△」

[解答 54](1) 地場産業 (2) ア (3) 眼鏡フレーム

[解答 55]① 雪 ② 副業 ③ 眼鏡フレーム ④ 地場 ⑤ 伝統的 ⑥ 伝統

[解答 56]雪が多く農作業ができない冬の間の副業として発達したから。

[解答 57]① 福井県 ② 石川県 ③ 新潟県

[解説]

①の眼鏡フレームは福井県鯖江市、②の輪島塗は石川県の輪島市、③の小千谷ちぢみは新潟県小千谷市である。

[解答 58]ピアノ(浜松市)

【】 中部全般

[解答 59]①A 飛騨 B 木曾 C 赤石 D 日本アルプス E 富士 F 甲府 G 越後

H 信濃 I 濃尾 J 輪中 ②A 東海 B 中央高地 C 北陸 D ウ E イ F ア

③A 渥美 B 豊川 C 電照 D 施設 E 抑制 F 茶 G みかん H 夏 I レタス

J 抑制 K りんご L ぶどう M もも N 雪 O 単 P 銘柄 Q 早場 ④A 中京 B 1

C 機械 D 瀬戸 E ファインセラミックス F 豊田 G 名古屋 H 東海 I 四日市

J 名古屋 K 地場 L 雪 M 副 N 輪島 O 眼鏡フレーム P 精密 Q 電気 R 浜松

S 楽器 T 富士 U 東海

[解答 60](1)A 飛驒 B 木曾 C 赤石 D 信濃 E 越後 F 濃尾 G 甲府 H 富士  
(2) 日本アルプス (3) 輪中 (4) 愛知県・名古屋市, 山梨県・甲府市, 石川県・金沢市

[解答 61](1)A 北陸 B 中央高地 C 東海 (2)I : ウ II : イ III : ア

[解答 62](1)① 渥美半島 ② 豊川用水 ③ 電照菊 ④ 抑制栽培 ⑤ 施設園芸農業  
(2) 茶 (3) みかん (4) ぶどう, もも (5) りんご, ぶどう (6) レタス, キャベツ  
(7) 抑制栽培 (8) 他県の出荷量が少ない夏に出荷できるため高い価格で販売することができる。  
(9) 単作 (10) 豪雪のため冬に農業ができないことと, 豊富な雪どけ水を利用できるから。  
(11) 銘柄米 (12) 早場米

[解答 63](1) 中京工業地帯 (2) ア (3) 出荷額が一番多く, 機械のしめる割合がもっとも高いから。  
(4)① 豊田市 ② E ③ 名古屋港 (5)① 四日市市 ② A (6)① 東海市 ② C  
(7)① 瀬戸市 ② D (8)① 浜松市 ② オートバイ, 楽器 (9) 紙 (10) 東海工業地域  
(11) ウ→ア→イ (12) 地場産業 (13) 北陸は雪が多く, 冬の期間の副業として発達した。  
(14) 眼鏡フレーム